

令和8年5月定例会

(2026年)

市議会議案参考資料

(予算常任委員会 財政総務分科会提出分)

吹 田 市

議案番号	部 名	ペー ジ 番 号	資 料 名	要求委員名		
議案第63号	総 務	5	避難所宿泊体験訓練実施概要	江 口		
議案第63号	総 務	6	健康状態検査の検査項目及び測定方法について	江 口		
議案第63号	総 務	7	避難所宿泊体験訓練における業務委託料の内訳	江 口		
議案第63号	総 務	8	避難所宿泊体験訓練の検証結果を踏まえた今後の展開	江 口		
議案第63号	総 務	9	地域防災総合訓練における避難所宿泊体験訓練の実施スケジュール	浜 川		
議案第63号	総 務	10	防災力強化総合交付金の創設から現在までの経緯	乾		
議案第63号	行政経営	11	財政調整基金残高の推移（一般会計補正予算第1号まで）	乾		

避難所宿泊体験訓練実施概要

1 実施目的

避難所宿泊訓練を通じて、スフィア基準の観点から避難生活上の課題や関係者の役割分担の実効性を検証するとともに、健康への影響を客観的に把握し、その結果を避難所運営マニュアルの見直し、実効性の高い避難所運営モデルの構築につなげる。

2 実施日

令和 8 年（2026 年）11 月 14 日（土）～15 日（日）

3 実施場所

- (1) 避難所宿泊訓練：吹田市立吹田第二小学校（校舎、体育館、グラウンド）
- (2) 物資・物流訓練：豊津・江坂・南吹田地域防災用備蓄倉庫

4 関係機関

国立健康・栄養研究所、千里救命救急センター、吹二地区自治連合協議会、吹二地区防災対策委員会等

5 参加予定者

吹田第二小学校区内の住民の方及び吹田市地域防災リーダー（200 名程度）

6 訓練内容

避難所開設、避難者受付・誘導、運営本部立ち上げ、レイアウト展開、トイレカー・携帯トイレ設置、キッチンカー・炊き出し、健康確認等

7 訓練検証項目

項目		概要
ス フ ィ ア 基 準	栄養	備蓄食、炊き出し、キッチンカー等による食事提供、物資の確認・搬出・配布手順の確認
	WASH	断水等を想定し、トイレカー・携帯トイレの設置、動線、衛生管理、清掃の運用を確認
	シェルター	夜間環境、睡眠スペース、暑さ・寒さ、照明、音、プライバシー、パーティション等の配置を確認
	保健	参加者の健康状態や栄養状態の変化を観察・記録し、避難生活が身体に与える影響を客観的に把握
役割分担		地域、行政、関係機関の役割分担と情報共有の実効性を確認

8 今後の予定

- 6 月 第 3 回関係者会議（訓練内容の決定）
- 7 月 吹二地区及び吹田市地域防災リーダー等への周知
- 8 月 訓練準備（契約手続き等）
- 9 月 第 4 回関係者会議（役割調整）
- 10 月 第 5 回関係者会議（最終調整）、訓練参加者への説明会
- 11 月 訓練実施（14 日～15 日）、振り返り

健康状態検査の検査項目及び測定方法について

1 背景・目的

避難所では、身体活動量の低下、トイレ環境への不安による水分摂取不足、睡眠不足やストレスの蓄積などが健康被害につながるものが懸念されています。一方で、避難所生活が健康状態に与える影響に関する客観的なデータは十分に蓄積されておらず、実災害時に詳細な調査を行うことは被災者への負担にもつながります。

このため、本訓練では、平時の訓練機会を活用し、避難所生活が健康状態や行動に与える影響を把握することで、避難者の健康を守るために必要な環境整備や運営手法の検討につなげることを目的として調査を実施するものです。

2 検査項目

時期	検査項目	測定方法	把握する内容
訓練開始前	健康状態、生活習慣等	アンケート調査	基礎的な健康状態や生活習慣
訓練開始前	血圧	血圧計による測定	平時の血圧
訓練開始前	ストレスマーカー	唾液を採取し、唾液中のストレス関連ホルモンを測定	平時のストレス状態
訓練開始前～約1週間	身体活動量、脈拍、睡眠状況	腕時計型活動量計 (Fitbit) による測定	身体活動量や睡眠状況
訓練開始時 (当日朝)	尿比重	尿を採取して測定	平時の体内水分状態
訓練期間中	水分摂取量、トイレ利用状況、食事摂取状況、移動状況等	参加者による記録	避難所生活中の行動実態
訓練期間中	血圧	血圧計による測定	避難生活中の血圧
訓練期間中	ストレスマーカー	唾液を採取し、唾液中のストレス関連ホルモンを測定	避難所生活によるストレスや心身への負担の状況
訓練期間中	尿比重	尿を採取して測定	水分不足や脱水傾向の状況
訓練期間中～終了後約1週間	身体活動量、脈拍、睡眠状況	腕時計型活動量計 (Fitbit) による測定	身体活動量や睡眠状況の変化

3 期待される効果

調査結果は、水分摂取の促進や運動機会の確保、トイレ環境の改善など、避難者の健康を守るための避難所運営の検討に活用するとともに、脱水や生活不活発病等の予防、災害関連死の低減につながる避難所運営マニュアルや訓練モデルの充実に反映していきます。

4 その他

本調査では、訓練に参加される方のうち、事前に同意いただいた方にご協力をお願いするものです。

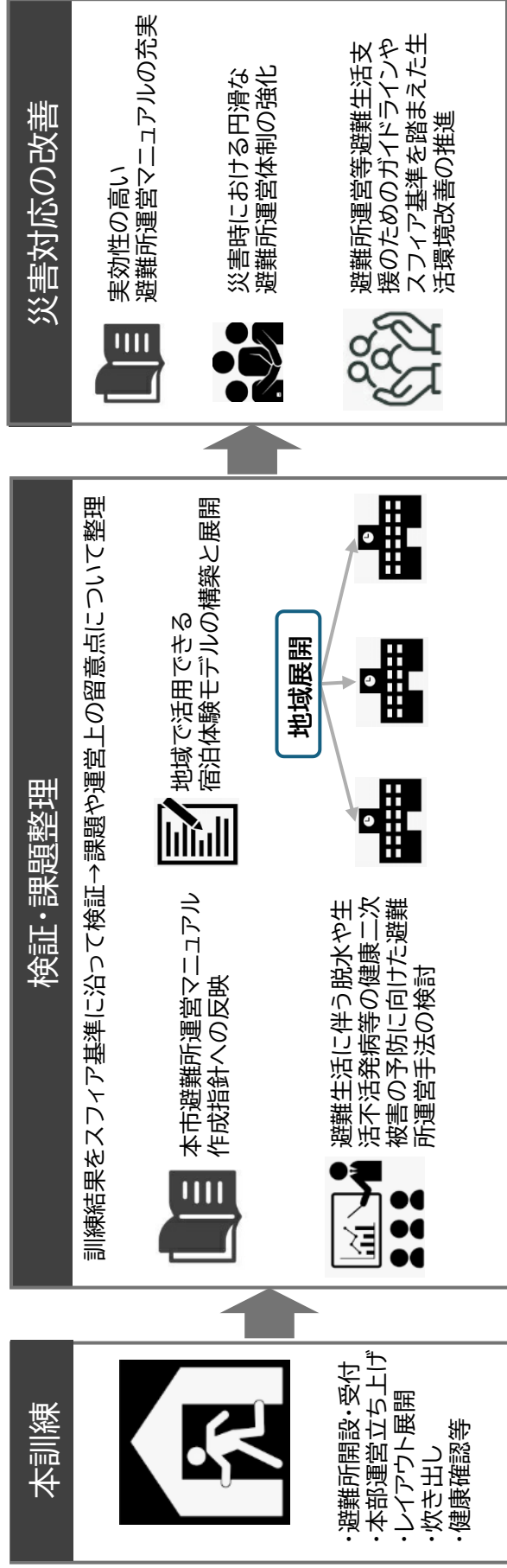
避難所宿泊体験訓練における業務委託料の内訳

項目		金額（円）
報告書作成業務	訓練モデル動画制作費	302,500
	訓練風景撮影費	165,000
	アンケート集計作業	143,000
	報告書作成	176,000
	小計	786,500
災害対応車両管理等	トイレカー一式	171,600
	キッチンカー一式	220,000
	小計	391,600
合計		1,178,100

避難所宿泊体験訓練の検証結果を踏まえた今後の展開

今回の訓練での検証結果を踏まえて、スフィア基準※に沿った避難所運営マニュアル作成指針の改定及び宿泊体験訓練のフレームを確立させることで、地域の実情に応じた訓練を実施できる基盤を整えます。

また、避難生活上の課題や健康への影響、関係者間の役割分担の実効性を検証し、その成果を実効性の高い避難所運営マニュアルの充実、健康二次被害の予防に向けたレイアウトや活動時間の確保など避難所運営の工夫の検討につなげ、災害時における円滑な避難所運営体制の強化を目指します。



※スフィア基準・・・災害時においても人としての尊厳を守り、避難者が健康で安全に生活できる環境を確保するための国際的な最低基準
「スフィア基準を踏まえた生活環境の確保」例) 衛生的なトイレ環境、プライバシーへの配慮、食糧の栄養価等

地域防災総合訓練における避難所宿泊体験訓練の実施スケジュール

1 実施目的

避難所宿泊訓練を通じて、スフィア基準の観点から避難生活上の課題や関係者の役割分担の実効性を検証するとともに、健康への影響を客観的に把握し、その結果を避難所運営マニュアルの見直し、実効性の高い避難所運営モデルの構築につなげる。

2 実施場所

(1) 避難所宿泊訓練：吹田市立吹田第二小学校（校舎、体育館、グラウンド）

(2) 物資・物流訓練：豊津・江坂・南吹田地域防災用備蓄倉庫

3 訓練スケジュール（案）※

日時		災害フェーズ	訓練項目
令和8年 (2026年) 11月14日	10:00 ∩	初動	避難所開設
			避難者誘導（一時避難地のグラウンドへ誘導）
			避難者受付
			避難者誘導（避難場所となる体育館や教室へ誘導）
			運営本部立ち上げ
			食事・物資提供
	12:00		食事（備蓄食）
	13:00 ∩	- 応急	初動対応やレイアウト、物資管理等の解説（講師）
			身体活動（ラジオ体操）
			備蓄品確認・配置
			レイアウト展開（トイレカー、携帯トイレ設置）
			・空調ガス設備・かまどセットを用いた炊き出し ・キッチンカー調理
17:30 ∩			- 応急
交流・自由時間			
22:00	応急	避難所に係る健康面の解説（講師）	
		就寝	
11月15日	6:00 ∩	応急	起床
			身体活動（ラジオ体操）
			健康確認
			朝食準備（おにぎり、汁物）
	朝食		
10:00		訓練終了（振り返り・アンケート）	

※訓練スケジュールは、今後の関係者会議にて詳細を調整のうえ決定する予定です。

防災力強化総合交付金の創設から現在までの経緯

1 創設の目的

従来の防災・減災に係る取組の改善、防災対策の実効性の向上及び地域のニーズを踏まえた「モレ・ムラ」のない被災地及び被災者支援の事前準備の高度化及び加速化を図るため、地域における危機管理投資を内閣府として後押しすることを目的とする。

2 対象事業

防災力強化支援事業、広域連携推進事業、被災者支援体制整備加速化事業の3つの支援メニューがあり、避難所宿泊体験訓練は被災者支援体制整備加速化事業に該当する。

3 創設から吹田市への通知までの経緯

日付	動向
令和7年(2025年)12月26日	令和8年度(2026年度)予算政府案閣議決定 防災力強化総合交付金が新規事業として計上
令和8年(2026年)2月24日	内閣府から大阪府を通じて府内市町村に対して防災力強化総合交付金が令和8年度(2026年度)に創設予定として制度概要が通知
3月13日	防災力強化総合交付金の説明会をオンデマンド形式で開催
4月7日	国の令和8年度(2026年度)予算が成立 防災力強化総合交付金が正式に予算化
5月25日	内閣府から大阪府を通じて府内市町村に対して防災力強化総合交付金の意向調査の通知
6月5日	吹田市から大阪府を通じて内閣府に意向調査について回答

財政調整基金残高の推移（一般会計補正予算第1号まで）

(単位：千円)

令和6年度 (2024年度)	令和7年度 ^{※1} (2025年度)			令和8年度 (2026年度)		
	年度内増減	積立金	繰入金	年度内増減	積立金 ^{※2}	繰入金 ^{※3}
ア	イ[=ウ-エ]	ウ	エ	カ[=キ-ク]	キ	ク
年度末残高				オ[=7+イ]		
12,931,590	▲ 1,251,080	148,920	1,400,000	11,680,510	22,986	6,096,649
						現在高 ^{※4}
						ケ[=オ+カ]
						5,606,847

※1 令和8年(2026年)5月31日時点の決算見込額を示しています。

※2 令和8年度(2026年度)補正予算第1号時点の(款)総務費(項)総務管理費(目)財政調整基金積立金の現計予算額を示しています。

※3 令和8年度(2026年度)補正予算第1号時点の(款)繰入金(項)基金繰入金(目)財政調整基金繰入金の現計予算額を示しています。

※4 令和7年度(2025年度)末残高に、令和8年度(2026年度)の積立てに係る現計予算額を加算し、繰入れに係る現計予算額を控除した予算ベースの現在高を示しており、実際の基金残高とは一致しません。

